

日高産水産物直販会「～日高の浜から届け隊～」



内容

- (1) いつ(日時)
平成29年5月27日(土) 15:00～16:30
- (2) どこで(場所)
北海道農業近代化技術研究センター(札幌市北区北10条西3丁目13NKエルムビル)
- (3) だれが(主体【主催及び共催】)
主催:日高管内漁業士会
共催:日高地区漁業協同組合女性部連絡協議会、日高地区漁業協同組合青年部連絡協議会
後援:北海道日高振興局
- (4) なにを(客体【参加者等】)
イベント来場者
- (5) なぜ(目的・趣旨)
大量消費地である札幌市で水産物の直販会を行い、生産者(漁業士)が日高産の水産物を消費者に直接売り込みその魅力を知ってもらうだけでなく、対面販売で消費者と交流を持つ中で「浜ならではの食べ方」をレクチャーすることで、管内の水産物の消費拡大と魚食普及を図る目的で実施しました。
- (6) どうした(方法・状態・結果)
管内漁業協同組合の協力を得て、真ツブ、灯台ツブ、マツカワガレイなどの活魚、タコ足やサケの冷凍加工品、昆布といった日高の特産品を用意し、管内女性部・青年部だけではなく道庁からも「漁村女性活動応援隊」が駆けつけ、対面販売を行いました。当日の天候はあいにくの雨でしたが、開店前に並ぶお客様もいて、目玉商品であるタコ足が大人気でした。また、来場されたお客様に「水産物がどうやって漁獲され、出荷されているのか。」という一連のストーリーを知ってもらえるよう会場内に操業風景等の写真パネルを設置しました。写真パネルを見て質問をするお客様もいて、各漁業士が漁師特有の「浜ことば」を交えながら対応していました。

